

# 令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: こども安全課  
 担当名: 児童相談所整備担当  
 内線: 3362

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
S86	中央児童相談所一時保護所整備費(継続事業第1年次支出額)		一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	中央児童相談所一時保護所整備費(継続事業第1年次支出額)		
事業期間	令和6年度～ 令和7年度	根拠法令	児童福祉法		針路	04 子育てに希望が持てる社会の実現	SDGsゴール	16	
					分野施策	0403 児童虐待防止・社会的養育の充実	SDGsターゲット	16-2	
1 事業概要 児童の居室の個室化など既設の一時保護所の環境改善を図るため、中央児童相談所一時保護所の建替え整備を行う。  継続費総額 1,586,080千円 →1,949,515千円(+363,435千円) (令和7年度 342,454千円) →406,050千円(+63,596千円) (令和8年度 1,243,626千円) →1,543,465千円(+299,839千円) (令和7年度9月補正予算で補正済み)			5 事業説明 (1)事業内容 児童の居室の個室化など既設の一時保護所の環境改善を図るため、中央児童相談所一時保護所の建替え整備を行う。 (2)事業計画 令和6年度 設計(建替え、解体) 令和7年度 建替え工事、解体工事 令和8年度 建替え工事 令和9年度 開所 (3)事業効果 【活動指標(アウトプット)】 一時保護基準に適合した施設の児童定員60人→90人 【成果指標(アウトカム)】 一時保護された児童が家庭的な環境等でより安心して過ごすことができ、落ち着いて児童自身の今後について考えることができる。 (4)補正予算の概要 県債から国庫支出金及び一般財源へ財源更正						
2 事業主体及び負担区分 【こども家庭庁】 次世代育成支援対策施設整備交付金 (国1/2・県1/2) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 一般補助施設整備等事業債 充当率90% 交付税措置 50%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500×1人=9,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	県債						
決定額	0	2,377	△3,000					623	406,050
現計額	406,050	50,683	355,000					367	

## 事業内訳書

事業名	中央児童相談所一時保護所整備費（継続事業第1年次支出額）		
単位事業名	中央児童相談所一時保護所整備費（継続事業第1年次支出額）	予算額	0千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 児童福祉費補助金	2,377	—	【こども家庭庁】 次世代育成支援対策施設整備交付金 補助率 1/2
県債・ 民生債	△3,000	—	児童相談所整備事業債
一般財源	623	—	
合計	0	—	